

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道195号 橋 バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県阿南市内原町竹ノ内口 至：徳島県阿南市橋 町 中 浦			延長	1. 2 km	
事業概要	<p>一般国道195号は、高知県高知市から徳島県徳島市に至る延長196kmの幹線道路である。橋バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間の解消および一般国道55号阿南道路へのアクセス性向上を目的とした延長1.2kmの2車線道路である。</p>					
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H10年度用地着手		H13年度工事着手	
全体事業費	約40億円		事業進捗率	96%	供用済延長	0.8km
計画交通量	8,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 32.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 2/46億円 (事業費: 1/45億円 維持管理費: 1/1億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 71/71億円 (走行時間短縮便益: 48/48億円 走行費用減少便益: 23/23億円 交通事故減少便益: /0億円)	基準年 平成18年		
感度分析の結果	-----					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（特定重要港湾 橋港へアクセス向上が見込まれる。） ・災害への備え（徳島県地域防災計画において緊急輸送路として位置づけられている。） ・他のプロジェクトとの関係（一般国道55号阿南道路のアクセス道路となる。） 他3項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見	<p>当区間の抜本改良については、阿南市より強い要望がある。また、国道55号バイパス建設促進県議会議員協議会等から、国道55号阿南道路へのアクセス道路となる号橋バイパスの早期完成の要望がある。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>H10に阿南安芸自動車道福井道路及び桑野道路が調査区間に指定され、またH17に四国横断自動車道阿南～徳島東間が新直轄方式となるなど、これらのアクセス道路となる本路線の重要性は高まっている。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成18年12月に新橋トンネルを含む0.8kmを部分供用している。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>用地はすべて取得済みであり、今後は本工事を促進し、平成19年度の全線完成供用を図る。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>特になし。</p>					
対応方針	継続					
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。